

太平洋学園高等学校訪問報告書

1 学校の概要・取組

定時制課程と通信制課程を併設した総合学科の高等学校である。定時制は昼間の時間帯を分けた2部制（Ⅰ部 9:00～、Ⅱ部 10:50～）をとっており、普通系列、情報系列、家庭福祉系列、軽音系列、美容系列（Ⅰ部のみ）の系列から選択できる。通信制のスクーリングは水曜昼間と夜間、土曜（昼間）の3つから選べ、普通系列、情報系列、家庭福祉系列の3系列がある。

教室や職員室などは廊下から中が見えるようになっており、遅れてきた生徒が教室に入りやすいようになっている。別室も複数用意されており、登校してきたけれども教室に入れない生徒に対応している。さらに、別室でもオンラインで授業参加ができるような工夫・研究に努めている。

前期（4～9月）後期（10月～3月）制をとっており、半期で単位が取得できるようになっている。秋に卒業する生徒もいるが、進学先や就職先の関係で春まで卒業を伸ばす生徒が多い。近年、入学者数が増えるとともに、中途退学者が減っている関係で、定時制の秋入学の受け入れが難しくなっている。

不登校経験者が多いため、生徒一人一人に応じたカリキュラムを考えたり、個別に相談したりしやすい体制を整えている。また、県立高等学校ではスクールカウンセラー(SC)やスクールソーシャルワーカー(SSW)は他校と兼務をしているが、太平洋学園高等学校では1校専属の勤務になっている。そうすることで、お互いに連携がとりやすくなっている。

上記のように、不登校経験や経済的に厳しい家庭環境にある生徒に対し教育活動を行うことで、学びやすい環境を整え、卒業して社会参画ができることを目標にしている。

・在籍生徒数（5月1日現在）

	1年生入学定員	R1	R2	R3	R4	R5
定時制（定通併修を含む）	90	223	217	244	258	267
通信制	100	147	175	191	220	233

2 課程の状況

定時制

学年（クラス）毎に授業を組むのではなく、本来あるべき単位制として原級留置のない制度にしている。モデルの時間割はあるが、生徒一人ひとりにあった時間割を組んでいる。

昼間の2部制をとっており、生徒が登校できる部を選んでいる。半期ごとにⅡ部からⅠ部に変えることもできる。（例えば、昼夜逆転していた生徒が、1年生で徐々に朝起きることに慣れてきたら、2年生からⅠ部に変えることができる。）

併置課程である通信制の科目を併修することで、3年で卒業できるカリキュラムとしている。また、単位を取得できなかったとしても、通信制で再履修することができる。

通信制

レポートは手書きが基本で、指定のボックスに提出する。しかし、書くことが苦手な生徒や、レポート用紙等を人に触られることが嫌な生徒がいるので、提出方法は様々である。レポートの提出をICT化することについては現在研究中である。

スクーリング以外の学習指導については、スクーリング日以外にレポートの指導日を設けたり、教員によっては動画配信やWeb会議システムを使った個別指導を行っている。